



騒音ばく露計 NB-14

騒音職場で働く作業者の騒音ばく露量を個別に測定・管理して、健康維持に貢献する計測器です。

厚生労働省 令和5年4月改訂
「騒音障害防止のためのガイドライン」に対応



〈原寸大〉

騒音ばく露計
NB-14

作業者に負担を与えない
小型・軽量サイズ

72g

労働安全衛生における 騒音作業環境測定

騒音ばく露計

NB-14

「騒音障害防止のためのガイドライン」(厚生労働省策定)に基づいた、騒音職場で働く作業者の個人騒音ばく露量を測定する機器です。

測定したデータは、専用のソフトウェアを使って効率的にグラフ表示、レポート作成が行えます。作業者の騒音ばく露量を個別に測定・管理することにより、騒音性難聴の早期発見・早期対応とともに耳栓・イヤーマフなどの聴覚保護具の使用や発生源の低騒音化など効果的な対策を講じることができます。

NB-14の特長

■ 簡単操作

- ・操作は、電源**「POWER(ON/OFF)」**と、測定**「START/STOP」**のみ
- ・**「自動校正機能」**搭載。測定前後の音響校正に便利です。

■ 簡単報告書作成

- ・**「騒音ばく露データ管理ソフトウェア AS-05Viewer」**(無償ダウンロード)で簡単に報告書を作成することが可能です。

■ USB充電

- ・専用の**USBケーブル**で手軽に充電。1回の充電で12時間以上の連続測定が可能です。

騒音ばく露測定の流れ

難しい操作は必要ありません

1 装着、測定



騒音ばく露量がLEDの光の色で分かります

測定開始 [START] → 測定終了 [STOP]

2 ソフトウェアに測定データを取り込み「測定結果報告書」を作成します。



測定結果報告書

正しい騒音ばく露量を測定するためには、測定前/後の機器の音響校正が重要です。NB-14のマイクロホンに、音響校正器を取り付けて簡単操作により、自動で校正できます。

職場における作業者の騒音性難聴の予防を促進するため、厚生労働省により「騒音障害防止のためのガイドライン」が令和5年4月20日に改正され、個人騒音ばく露による測定が導入されました。

騒音障害防止のためのガイドライン改訂のポイント

- 測定対象場所が追加されました。
これまでの騒音作業場は、「屋内作業場」と「屋内作業場以外の作業場」に分けられていましたが、今回、「屋内作業場」「坑内の作業場」「屋外作業場」に対して作業環境管理を求められるようになりました。また、等価騒音レベル85 dB(A)以上となる可能性が大きい作業場は全て対象になります。
- 作業環境に応じて個人ばく露測定も可能となりました。屋外等の開放空間や、騒音発生源や作業者の移動により作業者の騒音ばく露レベルを正しく把握できない作業場において、騒音ばく露測定により個人の等価騒音レベルの把握を行います。
- 事業者は、衛生管理者や安全衛生推進者等から騒音障害防止対策の管理者を選任し、ガイドラインで定める事項に取り組むことが追加になりました。
- 作業従事者に向けた労働衛生教育に、管理者を対象とした教育が追加されました。
- 聴覚保護具の選定方法が変わりました。聴覚保護具については、耳栓に表示されている遮音値 (SNR又はHML) を目安に、必要かつ十分な遮音値のものを選定します。(JIS T 8161-1:2020、JIS T 8161-2:2020参照)
- 作業者を対象とした以下の健康診断 (選別聴力検査と気導純音聴力検査) の方法が変わりました。雇い入れ検査、選別聴力検査 (6か月以内ごとに1回実施)、二次検査 (選別聴力検査で有所見となった方)

詳しくはこちら



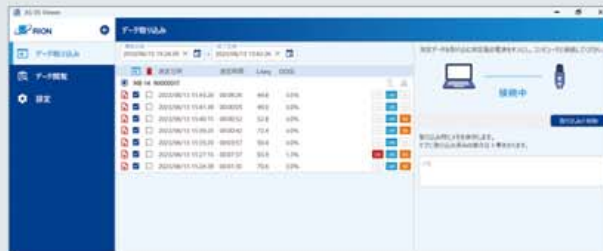
詳しく知りたい方は、リオンのWebサイト「騒音に関する労働衛生対策Web」をご確認ください。

騒音ばく露データ管理ソフトウェア AS-05 Viewer

DOWNLOAD リオンホームページから無償でダウンロード

騒音ばく露計NB-14によって測定されたデータをコンピュータ上に取り込み、測定データの閲覧やガイドラインに基づいた※ 報告書の出力を行うことができます。

※騒音障害防止のためのガイドライン別紙3 (3測定結果等の記録) 参照



ソフトウェア画面 (測定からのデータ取り込み)

騒音個人ばく露測定結果報告書

作成日 2023年 6月 13日

No.	対象作業 (別表)	開始/終了時刻 測定時間	等価騒音 レベル L_{Aeq}	測定条件 (周辺の建物、騒音源など)
1	別表2の17号：内世機関の試運転の最終を行う作業場	14:03/15:59 1時間55分	90.5 dB	○○○○
2	別表2の16号：丸のこ盤を用いて空車を切削する業務を行う	14:07/16:01 1時間53分	92.8 dB	××××
3			dB	
4			dB	

測定結果報告書

特長

- 測定器管理・設定
- NB-14データ取り込み
- 測定データ閲覧 (Excel、CSV形式で出力可能)
- 測定結果報告書作成 (Excel形式で出力可能)

測定データ数値表示

No.	Start Time	Message	Level	Level	Level	Level	Level	Level	Level
1	14:03:15	測定開始	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
2	14:03:30	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
3	14:03:45	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
4	14:04:00	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
5	14:04:15	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
6	14:04:30	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
7	14:04:45	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
8	14:05:00	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
9	14:05:15	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
10	14:05:30	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
11	14:05:45	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
12	14:06:00	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
13	14:06:15	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
14	14:06:30	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
15	14:06:45	測定中	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
16	14:07:00	測定終了	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
17	14:07:15	測定終了	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5
18	14:07:30	測定終了	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5	90.5

測定データ数値表示



測定データグラフ表示



NB-14測定データ表示アプリ
— スマホアプリでチェック —

Google Playストアからダウンロード対応予定

NB-14によって測定されたデータを、付属の専用ケーブルを介してスマートフォンで表示することができます。AS-05 Viewerでの測定データ取り込みの前に、現場で簡易的に測定結果を閲覧する際に便利なアプリです。

※USB Type-A→Type-C変換コネクタまたは両側がType-CのUSBケーブル (市販品) が別途必要です。



仕様 NB-14

適合規格	IEC 61252:1993+AMD1:2000+AMD2:2017, IEC 61672-1:2013 class2, JIS C 1509-1:2017 クラス2, VCCI クラスB CEマーキング ・EMC指令 2014/30/EU ・RoHS指令2011/65/EU UKCAマーキング、中国版RoHS指令
マイクロホン	UC-52
測定機能 (各演算値を同時に測定)	A特性時間平均サウンドレベル L_{Aeq} C特性時間平均サウンドレベル L_{Ceq} C特性ピークサウンドレベル L_{Cpeak} 騒音ばく露レベルの許容限度に対する割合 DOSE
ストア周期	1秒
測定レベル範囲	A特性時間平均サウンドレベル 58 dB ~ 143 dB C特性時間平均サウンドレベル 58 dB ~ 143 dB C特性ピークサウンドレベル 75 dB ~ 146 dB
測定周波数範囲	20 Hz ~ 8 kHz
表示	電源状態、測定状態、過負荷/アンダーレンジ、バーグラフ (騒音ばく露レベルの許容限度に対する割合 DOSE)

内蔵メモリ	約48時間分の測定データを保持
電源	内蔵リチウムイオン充電電池 (二次電池) 連続動作時間 フル充電状態から12時間以上 (使用温度範囲において)
使用温湿度範囲	温度: -10 °C ~ 50 °C 湿度: 10 % ~ 90 % RH (結露のないこと)
大きさ・重さ	85 (H) × 43 (W) × 22 (D) mm · 約72 g (フニクリップ用ホルダ部除く)
防塵防水性能	IP54 (マイクロホンを除く)
付属品	専用USBケーブル*1*2 専用ウインドスクリーン フニクリップ用ホルダ ※1 コンピュータからNB-14の設定を行い、測定データをコンピュータへ転送します。NB-14は充電部に装着し、充電部にはUSB Type-C-Type-A (コンピュータ側)ケーブルが接続されます。 ※2 充電には、別途充電器 (市販品)が必要で、充電に必要な電圧・電流: 5 V、185 mA
オプション	音響校正器 (NC-75)

リオンでは、「騒音障害防止のためのガイドライン」に基づく
騒音障害防止対策のトータルソリューションを提供いたします。

音響校正器 NC-75



測定前後の音響校正にご使用いただけます。
騒音ばく露計、騒音計の校正に使用します。

小型軽量

高精度

JCSS校正

普通騒音計 NL-28



屋内、屋外作業場における、作業環境測定
A測定、B測定に最適です。

小型軽量

簡単操作

高精度

普通騒音計 (NX-43EX付き) NL-43EX

オクターブ・1/3オクターブ
実時間分析プログラム
NX-43RT



A、B測定他に、オクターブバンド法、
SNR法、HML法に必要なデータ測定
が可能です。

作業場の防音対策のため、騒音源の周波数
分析機能付きの騒音計です。

高性能

分析機能付き



オーディオメータ AA-K1A

特殊健康診断での聴力検査用

聴力検査室内の被験者に対し、室外からコードを接続せずに検査が
可能です。オプションで最大3名まで同時に検査可能です。

フルコードレス

コンパクトタイプ



アコースティックカメラ

現場で手軽に音源位置を特定

騒音作業環境で問題となる音源を可視化し、騒音対策・騒音レベルの
低減を効果的に実施できます。

ハンディタイプ

分析機能付き

動画保存

リオン株式会社
https://svmeas.riion.co.jp/



JCSS
JCSS 0197

当社は、認定基準としてISO/IEC 17025を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋認定協力機構 (APAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社の品質保証室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0197は品質保証室の認定番号です。

*本カタログ掲載の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

技術相談受付 ☎0120-26-1566

当社の休日および土・日・祝日を除く
9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

取扱代理店

国華電機株式会社
KOKKA ELECTRIC CO.,LTD.

本社 TEL: 06-6353-5551 兵庫営業所 TEL: 078-452-3332
京都営業所 TEL: 075-671-0141 姫路営業所 TEL: 079-271-4488
滋賀営業所 TEL: 077-566-6040 姫路中央営業所 TEL: 079-284-1005
奈良営業所 TEL: 0742-33-6040 川崎営業所 TEL: 044-222-1212

メールでのお問い合わせ: webinfo@kokka-e.co.jp

本社・営業部 〒185-8533 東京都分寺市東元町3丁目20番41号
TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458

西日本営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番5号 横山ビル
TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673

東海営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目3番23号 和波ビル
TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458

九州リオン(株) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5番18号
TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847

上海理音科技 郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業化大樓 C区501室
有限公司 TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266

修理・再校正の 修理・再校正の 〒192-0918 東京都八王子市市兵衛2丁目22番2号
お問い合わせ窓口 TEL.042-359-7898 FAX.042-359-7458